

2019年2月28日

「パナソニック環境ビジョン2050」 当社初のCO₂ゼロ工場※を、日欧2工場で実現

パナソニック株式会社は、パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社 (PETEC) とパナソニック エナジーベルギー株式会社 (PECBE) に
おいて、2019年1月に、当社初のCO₂ゼロ工場を実現しました。

当社は、環境経営における長期ビジョン「パナソニック環境ビジョン2050」を2017年6月に策定し、2050年に向けた環境経営の目指す方向
を明確に定めて活動を推進しています。その活動の一つ、持続可能な社会を目指した事業推進の位置付けとして、工場の操業においてCO₂
を排出しない「CO₂ゼロの工場づくり」をグローバルで目指して取り組んでいます。その取り組みの中で、このたび、パナソニックグループの家
電リサイクル工場であるPETECと、乾電池工場であるPECBEにおいて、再生可能エネルギー発電設備の導入や、再生可能エネルギー由来電
力の調達、さらには化石燃料由来CO₂の排出をオフセットするクレジットの活用などにより、CO₂ゼロ工場を日欧2工場で実現しました。

当社ではこれらの工場をCO₂ゼロ工場の先行モデル工場とし、培った取り組みを今後は順次グローバルの工場に展開することで「環境ビ
ジョン2050」が目指す、持続可能な社会を目指したCO₂を排出しないモノづくりを着実に推進してまいります。

なお、これらの工場では、以下の取り組みを実施しています。これらの取り組みによるCO₂削減量は、両工場で約5,000トンになります。

■パナソニック エコテクノロジーセンター株式会社 (PETEC)

1. 太陽光発電システムを導入 (2009年導入、発電容量50 kWの太陽光パネルHIT™。2019年中に624 kWへ増設予定)
2. 全調達電力を100%再生可能エネルギー由来電力へ切り替え (関西電力株式会社「水力ECOプラン」と、非化石証書を活用)
3. 化石燃料由来CO₂の排出をオフセットするJ-クレジットを活用

今後は、省エネルギーの取り組み強化、地中熱など再生可能エネルギーの更なる活用や、化石燃料より排出されるCO₂を吸収し分離・活用
する技術の導入など、自社開発技術を活用した施策も推進してまいります。

■パナソニック エナジーベルギー株式会社 (PECBE)

1. 工場敷地内に高さ100 mの風力発電システムを導入 (2016年導入、発電容量2 MW)
2. 全調達電力を100%再生可能エネルギー由来電力へ切り替え
3. 化石燃料使用ボイラーを省エネタイプに切り替え、使用時の化石燃料由来CO₂の排出をオフセットするクレジットを活用

その他、より環境に配慮した工場を目指して、照明のLED化、電気自動車を社用車として採用、廃木材の工場内飲食スペース壁面への活用
など、様々な活動に取り組んでいます。

※CO₂ゼロ工場: 省エネ推進や再生可能エネルギー導入、クレジットの活用などにより、CO₂排出を実質的にゼロとした工場

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。